

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 745 号	氏名	森 圭介
学位審査委員	主査	李 桃生	
	副査	中島 正洋	
	副査	江口 晋	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、加齢に伴う骨粗鬆症と骨髄内脂肪組織の蓄積と関連性、特に骨髄間葉系幹細胞(BMSC)から分化した脂肪細胞の役割との新たな視点から骨粗鬆症の分子機構を明らかにするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ヒト BMSC を用いて培養により脂肪細胞に分化させ、細胞形態、免疫染色およびウエスタンブロット法により、その分化誘導効率と成熟度を評価した。また、共培養実験を行い、BMSC より分化した骨髄脂肪細胞が破骨前駆細胞から破骨細胞への分化および骨吸収の促進効果に与える影響を定量評価した。これらの研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、BMSC から効率的に脂肪細胞への分化誘導が可能であり、その BMSC より分化・成熟した脂肪細胞が receptor activator of nuclear-κB ligand (RANKL)を介して破骨前駆細胞から破骨細胞への分化を誘導し、骨吸収に促進効果をもたらすことが判明した。今後の加齢に伴う骨粗鬆症に対する新たな分子標的治療法の開発に繋がるものと評価される。</p>			
<p>以上のように本論文は、骨代謝と加齢性骨粗鬆症の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			